



[審査証明番号/有効期限]	BCJ-審査証明-58/2029年12月8日
[技術の名称]	排水管更生技術「DREAM工法」
[依頼者(審査証明取得者)]	東京ガス株式会社、東京ガスリノベーション株式会社、株式会社 カンドー、株式会社 協和日成

[技術概要]

既存の建築物に施工された、排水管(器具排水管、ルーフトレンおよび特殊排水管※を除く)内部の付着物・錆をクリーニング(サンドブラスト)により除去、研磨した後、配管内面にライニングにより防錆塗膜を形成し、排水管の更生を図る技術である。

クリーニングは、セラミックサンドにより排水管内面の付着物・錆を除去し、ライニングに適した下地とする。

ライニングは、一般の排水に十分耐えうる性能を持ったビニルエステル樹脂により排水管内面をライニングするものである。

※ここでいう特殊排水管とは、「一般の排水システムまたは下水道へ直接放流できない有害、有毒、危険その他望ましくない性質を有する排水を導く系統に使用される管」をいう。

[工法適用対象管種について]

部位	管種	継手
立て主管	排水用鋳鉄管 ・メカニカル形(1種管) ・メカニカル形(2種管) ・差込み形(R-J管)	排水用鋳鉄管 ・メカニカル形(1種管) ・メカニカル形(2種管) ・差込み形(R-J管) ・特殊排水継手 クボタSF型継手 クボタF型継手 クボタL型継手 クボタC型継手 コアジョイント継手 セクスチャ継手 OM継手
	水配管用亜鉛めっき鋼管 配管用炭素鋼鋼管 排水用タームボキシ塗装鋼管	ねじ込み式排水管継手 排水鋼管用可とう継手 <MDジョイント>
	排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管	排水鋼管用可とう継手 <MDジョイント>
	銅管(直管)	
横枝管	排水用鋳鉄管 ・メカニカル形(1種管) ・メカニカル形(2種管)	排水用鋳鉄管 ・メカニカル形(1種管) ・メカニカル形(2種管)
	水配管用亜鉛めっき鋼管 配管用炭素鋼鋼管 排水用タームボキシ塗装鋼管	ねじ込み式排水管継手 排水鋼管用可とう継手 <MDジョイント>
	排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管	排水鋼管用可とう継手 <MDジョイント>
	銅管(直管)	
横主管	水配管用亜鉛めっき鋼管 配管用炭素鋼鋼管 排水用タームボキシ塗装鋼管	ねじ込み式排水管継手 排水鋼管用可とう継手 <MDジョイント>
	排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管	排水鋼管用可とう継手 <MDジョイント>

[開発の趣旨]

近年、集合住宅等の排水設備において、劣化が進んだ排水管の維持管理及びその改修工事が多く行われている。排水管の更新工事は、パイプスペースの壁面取り壊しや補修等付帯する建築工事が多く発生し、居住者の日常生活の制約が多く負担となる場合がある。

本工法は、排水管内面に良質な防錆塗膜を形成することによって、配管を取り外すことなく排水管の延命化を図るものである。

[開発目標及び審査証明結果]

本技術について、前記の開発の趣旨及び開発の目標に照らして審査された結果は、以下のとおりである。

- (1) ライニング樹脂は、耐薬品性、耐久性、及び十分な接着性を有するものと判断される。
- (2) クリーニング工程においては、配管内部の付着物・錆を除去し、適切なライニング下地を形成するものと判断される。
- (3) ライニング工程においては、仕上がりが平滑で防錆性能を有するライニング塗膜を形成するものと判断される。
- (4) 排水時の排水性能が損なわれないものと判断される。

[本技術の問い合わせ先]

東京ガス株式会社

総合設備事業部/福井/TEL03-5400-3140

東京ガスリノベーション株式会社

エンジニアリング事業部/金子/TEL03-6384-3372

株式会社 カンドー

業務用営業部/廣田/TEL03-3226-2577

株式会社 協和日成

建築設備部/平林/TEL03-5717-6316

技術紹介サイト

<http://www.dream-kyokai.jp>

